空洞発見精度の実績（令和２年４月１日以降の実績）

|  |
| --- |
|  |
| 業務名 | | 発注者 | 空洞発見率（％）  （率＝100×(評価点/配点)） | 空洞的中率（％）  （率＝100×(評価点/配点)） |
|  | |  |  |  |
| (計算式) | (計算式) |
|  | |  |  |  |
| (計算式) | (計算式) |
|  | |  |  |  |
| (計算式) | (計算式) |
|  | |  |  |  |
| (計算式) | (計算式) |
|  | |  |  |  |
| (計算式) | (計算式) |

注１：上記に記入した内容について、令和２年４月１日以降に国又は地方公共団体のプロポーザル等で実施した試験走行による、空洞発見率、空洞的中率の実績が分かる資料（入札調書など）を提出すること。

注２：注１の結果の資料が、国又は地方公共団体が公表または提示されたものであることとするが、資料では確認できない場合は、別途それらを証明する資料を提出すること。

注３：最大５件まで記入すること。

注４：空洞発見率及び空洞的中率の算出方法については、技術提案書等作成要領２（１）の記載内容を確認し、計算式まで記入すること。

空洞発見精度の実績を証する資料の写し

注１：文字・数字等が確実に読み取れるよう添付すること。読み取れないものは、失格とする場合がある。

注２：写しが複数にわたる場合や本様式に収納できない場合は、本様式を複写し、必要書類のすべてを添付すること